



小学校教員のための

中学校教諭二種免許状(英語)取得に関する免許法認定講習開講のご案内

本学では文部科学省との間で「小学校英語教科化に向けた専門性向上のための講習の開発・実施事業」の委託契約を締結しました。

本事業は、平成32年度の小学校英語教科化に向けて、小学校の現職教員が専科教員として英語を指導できるように、平成28年度から30年度の3年間で中学校教諭二種免許状(英語)を取得するための免許法認定講習科目(14単位分)を開発し、実施するものです。平成28年度は2科目(4単位分)を開講します。

小学校における英語教育の指導力及び専門性を高めたい先生方は、是非この機会に受講をご検討ください。

▼詳しくは、実施要項または本学ホームページをご確認ください。

■本学ホームページ左側にある以下のバナーをクリック



■URL:http://www.fukuoka-edu.ac.jp/educator_enterprise/mnk/about

・トップページ>「教育関係者・企業の方へ」>「免許法認定講習について知りたい」

or

・トップページ>研究・社会貢献活動>生涯学習支援>公開講座>免許法認定講習

《本件に関するお問い合わせ》

福岡教育大学教育支援課

TEL: 0940-35-1246、0940-35-1481

Mail: kyouscho@fukuoka-edu.ac.jp

— 中学校二種免許状(英語)取得までの流れ —

受講資格

小学校教諭普通免許状所持者で3年以上の実務経験がある現職教員
(※免許状を取得した後に小学校にて教諭又は講師として在職している者)

3年間で開講する7科目を受講し、合計14単位を修得

平成
28年度

- 中等英語科指導法(教職に関する科目)
- 英語学概論(教科に関する科目)

平成
29年度

- 英米文学(教科に関する科目)
- 英語コミュニケーション(教科に関する科目)
- 異文化理解(教科に関する科目)

平成
30年度

- 生徒の指導と理解(教職に関する科目)
- 英語音声学(教科に関する科目)

※全ての科目が2単位構成です。

各教育委員会へ免許状取得申請の手続き

※詳しくは各教育委員会へお問い合わせ下さい。

中学校教諭二種免許状(外国語(英語)) 取得

(参考) 小学校教諭が中学校二種免許状を取得することについて

教育職員免許法により、小学校教諭普通免許状を有する者が中学校二種免許状を取得する場合は、小学校免許状取得後に当該免許において、良好な勤務成績での在職年数が3年あり、所定の14単位(教職に関する科目4単位、教科に関する科目10単位)を修得した後に、免許状授与権者(各教育委員会)が行う教育職員検定の結果により授与されます。



平成28年度福岡教育大学免許法認定講習(中二種免(英語))

実施要項

1. 趣旨

この講習は、文部科学省が実施する「小学校英語教科化に向けた専門性向上のための講習の開発・実施事業」の委託を受けて実施する講習です。

平成32年度の小学校英語教科化に向けて、小学校の現職教員が専科教員として英語を指導できるように、平成28年度から30年度の3年間をかけて、中学校教諭二種免許状(英語)を取得するための認定講習を実施し、今年度は2講習の開講となります。

2. 実施者 福岡教育大学

3. 受講対象者

小学校教諭普通免許状を有し、小学校(特別支援学校小学部を含む)にて教諭又は講師として、3年以上の実務経験がある現職教員

4. 授業科目

授業科目名 (担当講師)	単位数	受講定員	授業日程
中等英語科指導法 (森 千鶴 教授)	2	30名	平成 28 年 12月26日(月)8:40~17:45 12月27日(火)8:40~17:45 12月28日(水)8:40~19:00
英語学概論 (中島 亨 教授)	2	30名	平成 29 年 1月 4日(水)8:40~17:45 1月 5日(木)8:40~17:45 1月 6日(金)8:40~19:00

※講義は、1日90分5コマ×3日間の集中講義で行い、3日目の講義終了後に試験を行います。

5. 講習会場

福岡教育大学 赤間キャンパス(宗像市赤間文教町1-1)

〔最寄りの交通機関〕

- JR 鹿児島本線:教育大前駅(下車 徒歩 10分)
- 西鉄バス:赤間営業所(下車 徒歩 10分)

※自家用車でお越しの場合、駐車場はございますが、なるべく公共交通機関でお越し下さい。

6. 受講料 無 料 (※但し、テキスト代は実費負担となります。)

7. 申込方法

(1) 提出書類

別紙申込書及び返信用封筒2通(角形2号封筒、宛名記入、120円切手貼付)

(2) 申込受付期間

平成28年11月14日(月)～平成28年12月5日(月) 必着

※郵送の場合は、簡易書留、特定記録郵便等、送達記録の残る方法で送付してください。

※持参の場合は、土曜日、日曜日及び休日を除く9時から17時に受付します。

(3) 申込先

〒811-4192 宗像市赤間文教町1-1

福岡教育大学教育支援課 教務企画グループ

(送付する封筒の表に「**免許法認定講習申込**」と**朱書き**してください。)

8. 受講者の決定

受講申請は、先着順で受講定員に達した時点で受付を終了します。

9. 受講許可等の通知

受講許可、講義室等の通知は、平成28年12月9日(金)に郵送します。12月14日(水)までに届かない場合は、直ちに本学へ連絡してください。

10. 単位認定

各科目とも授業時間数の5分の4以上(24時間以上)に出席し、試験による成績審査に合格した場合、1科目につき2単位を授与します。理由如何に関わらず、授業時間数の5分の4以上の出席がなければ、成績評価の対象となりません。

11. 申込書及びシラバス(授業概要)の入手方法について

申込書及びシラバス等は、下記のいずれかの方法で入手できます。

(1) 本学ホームページからダウンロード

福岡教育大学トップページ > 教育関係者・企業の方へ > 免許法認定講習

URL: http://www.fukuoka-edu.ac.jp/educator_enterprise/mnk/about

(2) eメールによる請求

下記メールアドレス宛に件名を「認定講習 申込書(シラバス)請求」と記載の上、メールを送付してください。本文なしで構いません。

(3) FAXによる請求

下記問い合わせ先へ電話にてその旨をお知らせください。折り返し、FAXで送信します。

12. その他

- ・現在文部科学省へ認定申請中ですので、内容に変更がある場合もあります。
- ・受講に際して必要な事項は、受講決定通知の際にご連絡します。
- ・ご提出いただいた書類等は、本講座以外の目的には使用しません。

【本件問い合わせ先】

福岡教育大学教育支援課 教務企画グループ

TEL: 0940-35-1246 FAX: 0940-35-1704

E-mail: kyouscho@fukuoka-edu.ac.jp

平成28年度 福岡教育大学免許法認定講習 受講申込書

(中学校教諭二種免許状(外国語(英語))用)

申込日 平成28年 月 日

下記のとおり受講したいので申し込みます。

ふりがな			
氏名			
生年月日	S・H . .	性別	男・女
現住所	〒		
連絡先	(自宅電話) () -	(携帯電話)	
	(Eメールアドレス) @		
勤務校名			
教職経験年数	年	(注)基礎免許状取得後の小学校(特別支援学校小学部含む)の勤務年数を記入して下さい。	
基礎免許状授与年月日	小学校教諭 一種 二種	専修 免許状	S・H . . 授与

【受講希望科目】

受講を希望する科目の「受講希望欄」に「○」を記入して下さい。

開設科目	単位数	実施日	受講希望
中等英語科指導法	2	H28.12/26(月) ~ 12/28(水)	
英語学概論	2	H29. 1/ 4(水) ~ 1/ 6(金)	

※受講上特別な措置希望の有無	有 ・ 無
有の場合、具体的な措置内容	

平成28年度 福岡教育大学免許法認定講習 シラバス

授業科目名	中等英語科指導法		
担当教員名	森 千鶴		
単位数	2	授業形態	講義
免許法上の科目区分	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目（各教科の指導法））		
授業の目標・概要	<p>中学校・高等学校学習指導要領における英語科の指導目標・学習内容を理解するとともに、英語科の教育法及びその理論的背景に関する基礎知識、学習指導計画や学習指導案作成等の基礎技能を習得する。また、小学校「外国語活動」の原理を踏まえたうえで、中学校・高等学校の「英語科」学習指導案を立案し、書くことができる。</p>		
学習指導要領との関連性	<p>中学校および高等学校の学習指導要領には、ともに「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」を重視して授業を行うこと、またその際、英語の4技能（聞く、読む、話す、書く）をバランスよく統合して活動を策定することが強調されている。この点を踏まえて、講義を行う。</p>		
授業で身につけるべき資質能力	<p>小学校「外国語活動」の知識・経験を踏まえたうえで、中学校・高等学校の英語教育の専門的な知識を持ち、それを実際の授業で生かして運用できる基礎的な実践力を身につけること。</p>		
授業計画	<p>第 1 回 日本の英語教育において、目指すべき「英語コミュニケーション能力」 第 2 回 言語習得論における子どもと大人の違い、外国語教育の意義および小学校への英語教育導入の経緯 第 3 回 基本的な外国語教授法 第 4 回 「外国語活動」 レッスン・プランの立案 第 5 回 「外国語活動」 演習 第 6 回 小学校「外国語活動」と中学校「英語科」の連携 第 7 回 中学校・高等学校「学習指導要領」の概要、および教授原理（4技能統合と評価） 第 8 回 中学校・高等学校の文法指導のあり方とコミュニケーション活動 第 9 回 中学校「英語科」 レッスン・プランの立案 第 10 回 中学校「英語科」 演習 第 11 回 高等学校「コミュニケーション英語 I」 レッスン・プランの立案 第 12 回 高等学校「コミュニケーション英語 I」 演習 第 13 回 ティーム・ティーチングの技法（1） 第 14 回 ティーム・ティーチングの技法（2） 第 15 回 日本の英語教育における現代的課題（小・中・高連携） 試験</p>		
教科書	三浦省五・深澤清治（編著）『新しい学びを拓く 英語科授業の理論と実践』ミネルヴァ書房 ISBN：978-4623053025		
参考図書			
成績評価	<p>試験 授業時間数の5分の4以上の出席がなければ、成績評価の対象となりません。</p>		
授業時間外の学習について	授業時間外で180分の学習を課する。		
関連 HP			
備考			

平成28年度 福岡教育大学免許法認定講習 シラバス

授業科目名	英語学概論		
担当教員名	中島 亨		
単位数	2	授業形態	講義
免許法上の科目区分	教科に関する科目 (英語学)		
授業の目標・概要	英語に関する歴史的・文化的背景をふまえるとともに、音声学・音韻論、形態論、統語論、意味論・語用論等の英語の教科指導に必要な言語学に関する諸理論の基礎的な内容を学修する。これらの学修を通じて、英語がもつ特徴に関する基礎知識を習得し、英語の教科指導に必要な視座を得る。		
学習指導要領との関連性	目標にある「言語に対する理解を深める」側面について、教師が知識として持ち、言語活動の設定や言語材料の教材研究などに活かす。		
授業で身につけるべき資質能力	(1) 言語学の考え方をを用いて英語のことばの仕組みを理解すること。 (2) また英語のことばの仕組みを記述 (表現) することができること。		
授業計画	<p>以下の計画は現時点での予定です。受講者の理解の状況に応じて変更することがあります。</p> <p>第 1 回 オリエンテーション・言語学の考え方 (1) 人間の言語の能力とは 第 2 回 言語学の考え方 (2) 能力とその具現化の違い、規範文法と記述文法 第 3 回 音声学・音韻論 (音の知識) (1) 第 4 回 音声学・音韻論 (音の知識) (2) 第 5 回 音声学・音韻論 (音の知識) (3) 第 6 回 形態論 (単語の知識) (1) 第 7 回 形態論 (単語の知識) (2) 第 8 回 形態論 (単語の知識) (3) 第 9 回 統語論 (文を作る知識) (1) 第 10 回 統語論 (文を作る知識) (2) 第 11 回 統語論 (文を作る知識) (3) 第 12 回 意味論 (意味を理解する知識) (1) 第 13 回 意味論 (意味を理解する知識) (2) 語用論 第 14 回 英語史 第 15 回 第二言語習得 試験</p>		
教科書	なし		
参考図書	Radford, A., Atkinson, M., Britain, D., Clahsen H., Spencer, A. (2009) Linguistics: An Introduction (2nd edition). Cambridge University Press		
成績評価	試験 授業時間数の 5 分の 4 以上の出席がなければ、成績評価の対象となりません。		
授業時間外の学習について	指示します。		
関連 HP			
備考			